

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ア) 総合相談支援事業について特に力を入れて取り組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
1	<p>総合相談支援事業（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>3 職種の専門性を活かしたチームアプローチを実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>多機関と連携した重層的支援体制の構築に向けた取り組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取り組み内容】</p> <p>目標： 3職種の強みを活かし、相談者のニーズに幅広く対応します。</p> <p>内容： 来所、訪問ともに複数の職種が対応することで丁寧なアセスメントを行い、迅速かつ総合的な対応をしています。複数職種が同席できなかった場合も当日もしくは翌開所日には複数職種で情報を共有、相談しています。</p> <p>【課題】</p> <p>主任介護支援専門員の配置が保健師・社会福祉士に比べ少ないことです。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>ケース支援については、必ず職員全体で確認し、必要な対応が迅速に行える対応体制となるよう取り組んでいます。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>利用者の状況をふまえ、専門的に対応できる職員が関わることで、課題の解決に取り組んでいます。</p> <p>【課題】</p> <p>相談ケースに応じた 3 職種の対応体制の平準化が望まれます。</p>

令和7年度 服部地域包括支援センター

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>運営法人とも協力し、主任介護支援専門員の確保・育成に取り組んでいます。</p>	
--	--	---	--

令和7年度 服部地域包括支援センター

豊中市地域包括支援センター事業評価表

イ) 権利擁護事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
2	<p>権利擁護事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/>自分らしく尊厳をもって生活することができるよう、自己決定・意思決定支援をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>予防的アプローチと地域づくりに取組んでいる。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 高齢者の消費者被害・虐待などの権利侵害を未然に防ぐため、地域において相談につながりやすい環境づくりを進めます。</p> <p>内容： 地域教室や高齢部会だけでなく10月から豊島北校区ローラー作戦でも地域包括支援センターが消費者被害や虐待の相談窓口である案内を配布し、啓発しましたが、12月現在では相談につながった事例はなく、効果については次年度以降に評価します。</p> <p>【課題】</p> <p>消費者被害の相談をうける件数が少なく、相談窓口であることを周知できていない可能性があります。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>地域教室や校区戸別訪問の際にチラシ配布等を行い、啓発しています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>当事者が自分ごととして実感できる啓発や研修の実施が計画されています。</p> <p>【課題】</p> <p>地域ぐるみの権利擁護の予防的アプローチにつながる取組みの推進に期待します。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>地域包括支援センターのリーフレットだけでなく、消費者被害予防のリーフレットも活用し、地域教室、高齢部会、信用金庫でのなんでも相談会でも積極的な周知を続けます。また、くらしかんからの情報など消費者被害に関する情報や地域包括支援センターが相談窓口であることをかわら版に掲載し、さらに周知を進めます。</p>	
--	--	---	--

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
3	<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 介護支援専門員等への個別ケアマネジメント支援において、地域包括支援センターが代わりに行うのではなく、介護支援専門員がより良い判断に到達できるよう助言等の支援をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域アセスメントを実施し、地域の実情に応じた取組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 介護支援専門員同士が横のつながりを持つことで、やりがいをもって支援を続けられるようにすることと、多角的な視点を持てるようにすることで資質向上をめざします。</p> <p>内容： 介護支援専門員の交流会・研修会は①服部緑地ケアカフェ②服部主任ケアマネジャーの会③男性ケアマネジャー交流会の3つを定期的に開催しています。研修テーマを知識の習得に関するだけでなく、本来業務以外の作業等やハラスメントなど、介護支援専門員が現場で抱える悩みに寄り添った内容に工夫しました。服部・緑地ケアカフェではアンケートで理解度を5点満点の評価で、88%が4点以上、実践に役立つものだったかについても「はい」が88%で、知識の習得につながったものと考えます。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>介護支援専門員に対する勉強会・研修が定期的に開催されており、情報提供と理解度の向上に取り組んでいます。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>具体的な事例を介護支援専門員間で共有することによって、実務上での課題や対応の共有にも活かされており、介護支援専門員からの評価も高いです。</p> <p>【課題】</p> <p>経験の浅い介護支援専門員の参加や啓発が望まれます。</p>

令和7年度 服部地域包括支援センター

豊中市地域包括支援センター事業評価表

	<p>【課題】</p> <p>介護支援専門員の交流会・研修会が知識の習得や、つながりづくりになっていますが、実践に生かされたかどうか確認が必要です。</p>	
	<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>交流会・研修会直後以外にも後追いアンケートを実施し、実践に生かされたかを確認し、今後の支援につなげます。</p>	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

エ) 介護予防ケアマネジメント事業について特に力を入れて取り組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
4	<p>介護予防ケアマネジメント事業（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援に資するプランになるよう、委託先の居宅介護支援事業所に対し、積極的なアプローチを実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 高齢者の主体性を引き出すための工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> リハビリテーション専門職に意見を求めるなど、生活能力の改善・維持・悪化の可能性を見極める視点を培っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 潜在的対象者の把握について工夫している。</p>	<p>【目標と具体的な取り組み内容】</p> <p>目標： 支援が必要だがつながっていない高齢者や生活機能の低下がみられる高齢者を早期に発見し、必要な支援につなげることで介護予防の効果を高め、地域で自立した生活を継続できるよう支援します。</p> <p>内容： 10月より豊島北校区で実施しているローラー作戦に参加しています。民生委員・校区福祉委員・社会福祉協議会とともに社会福祉協議会・地域包括支援センターのリーフレット、マグネットの配布、案内をしながら困りごとがないか聞き取りしました。また信用金庫とスーパーで、なんでも相談会を実施しました。ひとり暮らし高齢者登録や相談につながった方は、対面で案内した方のうち4%でした。数字では推し量れないところもありますが、潜在的対象者の発見ができました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>地域の福祉に携わる関係者や社会資源合同で、戸別訪問を行うローラー作戦が実施されており、リーフレット等を活用しながら対話することによって、情報収集と現状把握につなげています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>圏域内の社会資源を活用した「なんでも相談会」が定着しており、新たな相談場所の新規開拓も計画されています。</p> <p>【課題】</p> <p>今後も潜在ニーズの把握等のため、新たな相談場所の新規開拓等の継続的な取り組み</p>

令和7年度 服部地域包括支援センター

豊中市地域包括支援センター事業評価表

	【課題】 信用金庫の相談会は毎月年金支給日の午前中に実施しており、来店される高齢者の顔ぶれに変化が少ないため、工夫が必要と考えます。	が求められます。
	【改善の方策と次年度の取組み】 信用金庫と相談し、ポスター等で事前に来客者への周知方法を工夫します。	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

オ) 認知症地域支援・ケア向上事業について特に力を入れて取り組んだことを1つ記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
5	<p>認知症地域支援・ケア向上事業（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症支援に関する個別事例において、嘱託医、初期集中支援チーム、疾患センター等の専門機関に相談する必要性を判断し、必要時相談できる体制を整えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地域の实情に応じた方法により、認知症の人とその家族が参加する場で、本人の意欲向上と家族の介護負担感の軽減、認知症の人の在宅生活の安定を推進している。</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症予防などにかかる啓発活動について、工夫を凝らした取り組みを推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 認知症の人と家族が安心して地域で暮らし続けられるよう、早期発見・早期受診支援、介護者家族の負担軽減につながる場を充実させます。</p> <p>内容： 主催オレンジカフェにおいて認知症の人と家族、地域高齢者が同じ時間、空間で支援につながる情報や仲間と出会うことで生活の安定と介護負担の軽減ができる一体型支援をめざしました。手工芸や音楽、体操、回想法など当事者が楽しめる内容にプログラムを工夫し、家族と一緒に参加することも、離れて介護相談や交流を行うことも可能にしました。さわ病院認知症疾患医療センター、精神科デイケアと協働して実施することにより専門的支援の幅が広がっており、認知症鑑別診断に抵抗があった方の受診支援にもつながりました。また他圏域地域包括支援センターへの広報や各自の積極的な声掛けにより新規参加者が増加しました。参加者のリピート率は約53%で、参加者が安心して参加できる場づくりが一定の成果を得られたと考えます。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>オレンジカフェの展開を積極的に行っており、当事者・家族等が楽しめる場、情報共有・情報交換できる場として機能しています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>当事者・家族一体となった支援の場、関係者の交流の場としてのカフェ展開が行われており、医療機関受診など課題への取組みにもつなげています。</p> <p>【課題】</p> <p>当事者を含む参加者の意見や意向をふまえたカフェ内容の充実を期待します。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

	<p>【課題】</p> <p>従来実施している場所では空間を仕切ることが困難なため、開催場所を変更します。また当事者の意向が把握しにくいいため、当事者や地域高齢者が主体的に取り組めるようプログラムを工夫します。</p>	
	<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>開催場所については近隣に移転予定です。プログラムについても多職種で相談し、今後も創意工夫を続けます。</p>	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

カ) 一般介護予防事業を推進する取組みについて記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
6	<p>一般介護予防事業を推進する取組み（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>地域の通いの場づくりにおいて、地域及びグループの特性に応じた活動を、創意工夫しながら支援している。また地域で通いの場の普及啓発に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>多様な地域活動や通いの場等と連携し、高齢者の社会参加促進のための地域資源の情報収集及び共有を行い、地域の介護予防ネットワークの構築を推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 地域の特性に合わせた通いの場の新規立ち上げ支援と継続的な支援を続け、地域高齢者の介護予防、閉じこもり予防をめざします。</p> <p>内容： 地域住民より高齢者を孤立させない取組みをしたいとの相談があり、その地域では通いの場が少なかったため新規立ち上げ支援を行っています。1か所は、近くに通いの場があるものの全員が女性参加者で男性が参加しにくい現状にあった地域に新規立ち上げ支援を行っています。計2か所、地域のニーズに合わせた通いの場の新規立ち上げ支援ができました。また、既存グループのマンネリ化、モチベーション低下には、とよなかパワーアップ体操以外にも取り組める体操やプログラムの提案など随時相談に応じています。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>地域住民の声をふまえた通いの場創設にも取り組んでいます。通いの場の現状やニーズをふまえ、必要な後方支援や継続への取組みが行われています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>参加者のモチベーションの維持・向上のため、継続して参加したいと思える活動内容の企画や後方支援が行われています。</p> <p>【課題】</p> <p>通いの場への参加者拡充の取組みに期待します。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

	【課題】 新規立ち上げの際に、リーフレットをポスティングしますが、参加者数が伸びない状況です。	
	【改善の方策と次年度の取組み】 地域の民生委員や校区福祉委員、社会福祉協議会、医療機関、介護サービス事業所など多機関と連携して周知していきます。	